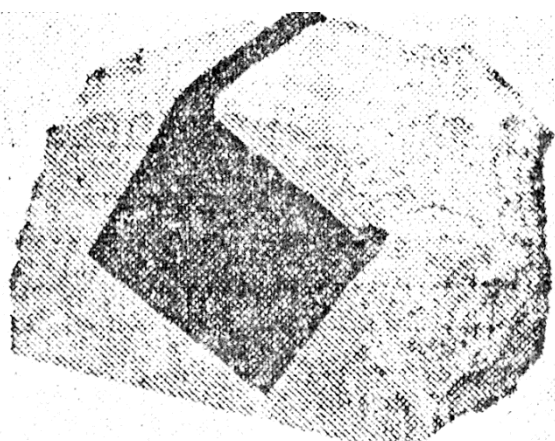


VISUAL ARTS

非西洋

トルコ、ユーゴスラビア、ブルガリア、日本などの「非西洋美術」国のアーティストによる展覧会が、ここ数ヶ月の間にオランダのギャラリーのプログラムに突然同時に登場しました。先月、Amsterdam Printshop は、「Istanbul-Amsterdam」というタイトルで13人のトルコ人アーティストによるグラフィックを展示しました。デルフトのDeVolle Maanは、7月12日まで、まだ5人のユーゴスラビア人を家に抱えています。ブルガリアのプルクリスタジオ、8月12日までの現代美術」とハーグのヌーヴェル画像ギャラリーは、現代日本美術のコレクションをまとめました（8月29日まで）。これらすべての場合において、それは民芸の側面についてではなく、これらの国々からの現代美術についてです。ヴェネツィアビエンナーレなどの主要なイベントは、これらの国で働くアーティストが、一方ではまだ自分たちの文化の背景に対処しなければならない分野で、他方ではヨーロッパのアーティストとアメリカをフォローしてみてください。私たちの見解では、これはしばしば肉でも魚でもない状況を作り出します。

現代日本美術（8月29日まで）。



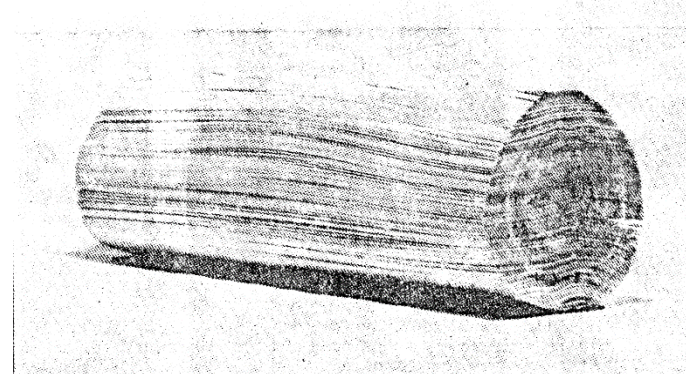
Granite lit 1979 Anu 檜葉 雍

これらすべての場合において、それは民芸の側面についてではなく、これらの国々からの現代美術についてです。

ヴェネツィアビエンナーレなどの主要なイベントは、これらの国で働くアーティストが、一方ではまだ自分たちの文化の背景に対処しなければならない分野で、他方ではヨーロッパのアーティストとアメリカをフォローしてみてください。私たちの見解では、これはしばしば肉でも魚でもない状況を作り出します。日本のアーティストはそれが何であるかを知っています。本当に最高を得るために。彼らは西からの発展を彼らの東洋の考え方に統合しているので、まだ明確な署名があります。ヌーヴェル・イナージュでの展示はこれを示しています。

トム ベレンは、オブジェクト、テキスタイルアート、写真、ジュエリーの展示をまとめました。これらは、このギャラリーが一般的に従う叙情的な美的ラインとも強く一致しています。

最も注目には値するのは、木の幹を薄片に切り、全体をまとめる角永和夫の「木」です。しかし、彼の樹木素材への興味は非常に大きいので、このアイデアについて繰り返し詳しく説明しました。また、ロサンゼルスに近代美術館の建設を依頼された磯崎の群馬県立美術館を印象づける写真も興味深い。



1978 "木" 角永 和夫